

au リニューアブルエナジーと日本エネルギー総合システム 系統用蓄電池設備の建設に着手

2025年11月19日

au リニューアブルエナジー株式会社
日本エネルギー総合システム株式会社

au リニューアブルエナジー株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木吾朗、以下「au リニューアブルエナジー」）、日本エネルギー総合システム株式会社（本社：香川県高松市、代表取締役：黒淵 誠二、以下「JPN」）は、岐阜県および愛知県の3拠点において株式会社パワーエックス（本社：岡山県玉野市、取締役 代表執行役社長 CEO：伊藤 正裕）製系統用蓄電システム「Mega Power 2700A」を採用し、蓄電池設備の建設を2025年9月より開始しました。両社は、2026年度から順次、同蓄電所の運転開始を目指して参ります。



■ 背景と目的

au リニューアブルエナジーは、KDDI 小山ネットワークセンター（栃木県小山市）内の「小山蓄電所」（蓄電池出力 1,999kW、蓄電池容量 5,608Wh、以下 本蓄電所）を蓄電池事業の初号機として 2025 年 8 月から運用を開始しました。また、三重県津市内では大型蓄電池設備（蓄電池出力 28MW、蓄電池容量 90MWh）を建設しており 2027 年度の運転開始を目指しております。今後も系統用蓄電池事業として、今回の 3 拠点での建設に続き、同事業を拡大し再生可能エネルギーの普及拡大と電力の安定供給に貢献して参ります。

JPN は、鹿児島県霧島市内での「霧島蓄電所」（蓄電池出力 1,990kW、蓄電池容量 8,128Wh）を蓄電池事業の第1号案件として 2024 年 6 月から運用を開始しました。また、和歌山県紀の川市内でも系統用蓄電池設備（蓄電池出力 1,990kW、蓄電池容量 8,128Wh）を建設しており、2025 年度内の運転開始を予定しております。今後も、系統用蓄電池の用地確保から設置、保守管理に至るまでを一貫してサポートすることで、長期的な運用を

支えるとともに、国内の再生可能エネルギーの普及促進と安定化に貢献して参ります。

両社は、本取り組みに続き、両社の技術力やノウハウを最大限に活かし、新たな事業モデルやイノベーションの創出にも注力して参ります。

<参考資料>

1. 系統用蓄電所概要

所在地	岐阜県下呂市	愛知県瀬戸市	岐阜県高山市
運転開始時期(予定)	2026年上期	2026年下期	2026年下期
発電出力	1.9 MW	1.9 MW	1.9 MW
蓄電池容量	8.2 MWh	8.2 MWh	8.2 MWh

2. 会社概要

■au リニューアブルエナジー株式会社

au リニューアブルエナジーは、「再生可能エネルギーで、“自然”と“地域社会”をつなぎ、地球と人が、ともに豊かに暮らせる未来へ。」を Purpose（存在意義）として掲げ、地域や自治体、パートナー企業のみなさまとともに、太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの発電事業を推進しています。地域に存在する太陽光発電、蓄電池、電気自動車などの分散型電源を制御し、安定供給を実現する再生可能エネルギー中心のエネルギー社会への転換に寄与していきます。

ホームページ URL : <https://www.kddi-re.com>

■日本エネルギー総合システム株式会社

日本エネルギー総合システムは、「再生可能エネルギーを通じて、地域と社会に安心と持続可能な未来を届ける」を存在意義として掲げ、太陽光発電や蓄電池の販売・施工をはじめ、大規模な系統用蓄電所の開発・運営まで、再生可能エネルギーを基盤とした多様な事業を展開しています。

ホームページ URL : <https://www.jpn-energy.jp>